

平成19年度バランスシート(山形県金山町)

バ ラ ン ス シ ー ト
(平成20年 5月31日現在)

(単位:千円)

借 方		貸 方	
[資産の部]		[負債の部]	
1. 有形固定資産		1. 固定負債	
(1)総務費	807,457	(1)地方債	3,525,793
(2)民生費	99,560	(2)債務負担行為	
(3)衛生費	120,363	① 物件の購入等	0
(4)労働費	0	② 債務保証又は損失補償	0
(5)農林水産業費	841,461	債務負担行為計	0
(6)商工費	940,463	(3)退職給与引当金	762,509
(7)土木費	2,836,334	固定負債合計	4,288,302
(8)消防費	57,301		
(9)教育費	4,263,996	2. 流動負債	
(10)その他	0	(1)翌年度償還予定額	410,152
計	9,966,935	(2)翌年度繰上充用金	0
(うち土地)	1,628,596	流動負債合計	410,152
有形固定資産合計	9,966,935	負債合計	4,698,454
2. 投資等			
(1)投資及び出資金	1,434,314	[正味資産の部]	
(2)貸付金	0	1. 国庫支出金	1,678,703
(3)基金		2. 県支出金	747,453
① 特定目的基金	209,011	3. 一般財源等	4,958,850
② 土地開発基金	67,571	正味資産合計	7,385,006
③ 定額運用基金	14,128	負債・正味資産合計	12,083,460
基金計	290,710		
(4)退職手当組合積立金	117,732		
投資等合計	1,842,756		
3. 流動資産			
(1)現金・預金			
① 財政調整基金	92,000		
② 減債基金	5,095		
③ 歳計現金	107,785		
現金・預金計	204,880		
(2)未収金			
① 地方税	66,561		
② その他	2,328		
未収金計	68,889		
流動資産合計	273,769		
資産合計	12,083,460		

※債務負担行為に係る補償等
 ①物件の購入等に係るもの 7,012 千円
 ②債務保証及び損失補償に係るもの 0 千円
 ③利子補給等に係るもの 83,164 千円

*議決を経て将来の支出が予定されている経費です

「資産」では、町民が負担してきた税金等、これまで収入した国庫・県支出金、町債等の運用形態が明らかになります。

有形固定資産には、土地、建物、機械装置、車両運搬具等があります。

※有形固定資産は、資産全体の82.5%を占めています。

公営企業会計に対する出資金を始め、財団法人等の諸団体への出資・出捐金の残高です。

“特定目的基金”は、地域基盤整備、社会福祉の充実等特定の目的のために資金を積み立てる基金です。
 “定額運用基金”は、特定の目的のために定額の資金を運用するための基金です。それぞれ現・預金で管理・運営されています。

基金以外の現金・預金です。出納閉鎖期日における当該年度に収入された現金と支出された現金との差額で、形式収支と一致します。

これまでに資産取得の財源として町が借り入れた資金(町債)の未償還残高から、翌年度償還予定額を差し引いたものです。

普通会計に属する職員の、これまでの勤務により発生し、将来必要となる退職手当の全額(試算額)です。しかし、退職手当は実際には退職手当組合から支払われますので町に直接的には支払義務は生じません

※退職給与引当金は、負債全体の16.2%を占めています。

平成19年度末の町債残高は、3,935,945千円です。

※町債残高は、負債全体の83.8%を占めています。

これからの世代が負担するものです。有形固定資産に対する割合 47%

企業会計における“資本”ではなく、これまでに資産取得の財源とした国や県からの負担金・補助金、町民が負担した税金等で、返済の必要はないものです。

《作成手法》
 原則として「地方公共団体の総合的な財政分析に関する調査研究会報告書」総務省(平成13年3月)で示された作成要領に基づきます。

《対象会計》
 普通会計(一般会計+バス会計)

これまでの世代が負担したものです。有形固定資産に対する割合 74%